

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 23 日

事務事業名		エコショップ制度実施事業			事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け			新規/継続	継続	事務事業No.	050801000223
		総合計画の施策名			単独/補助	単独	所属課	030301
		0508 生活環境の保全			主要事業		生活環境課	
政策体系		政策名	05 快適な暮らしのまちづくり		市長マニフェスト			
		施策名	08 生活環境の保全		未来PJ事業		グループ	
		手段名	01 ①環境問題の意識向上		合併建設計画事業		環境公害対策G	
財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	単年度繰返し (年度~)			
法令根拠					← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
【事務事業の内容】 環境にやさしい商品の販売やごみ減量化・リサイクル活動に積極的に取り組んでいる小売店舗を対象に広く市民にPRすることにより、市民と事業者の連携のもと、循環型社会の構築に向け、環境にやさしいライフスタイルをめざす。	【担当者が行う業務の手順】 エコショップの認定状況の報告 エコショップの認定更新

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
エコショップ制度についての啓発、エコショップの認定作業	啓発活動回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
市内の事業者 等	市内の事業所数	件	2,100.00	2,100.00	2,100.00	2,100.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
小売店舗のリサイクル活動及びごみ減量化、またエコ活動について啓発する。	新規認定店舗数	件	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00
	認定店舗総数	件	5.00	5.00	6.00	6.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	期間限定総投入量
投入量	事業費	国庫支出金 千円	0	0	0
		県支出金 千円	0	0	0
		地方債 千円	0	0	0
		使用料・手数料 千円	0	0	0
		その他 千円	0	0	0
		一般財源 千円	0	0	0
	事業費計 (A) 千円	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数 人	2.00人	2.00人	2.00人	
	述べ業務時間 時間	1.00	10.00	10.00	
	人件費計 (B) 千円	3	29	29	
トータルコスト (A) + (B) 千円		3	29	29	

事業費の内訳	29年度事業費 実績 (千円)			30年度事業費 予算 (千円)		
		合計	0		合計	0

(4) 当該年度の実施内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業			

事務事業名	エコショップ制度実施事業	事務事業No.	50801000223	所属課	生活環境課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

環境にやさしい商品の販売やごみの減量化、リサイクルを推進する店舗を行政が認定、支援することにより、事業者の環境配慮を喚起し、その取り組みを拡充することを目的とし、平成8年11月より実施されている。
地球温暖化をはじめ、環境への対応はここ数年注目を集めているが、エコショップ制度に関しては、登録する店舗等は少ない状況にある。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

特に意見はない。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う

エコショップ制度に関しては、登録する店舗棟は少ない状況にあり、事業所単位でのごみ減量化などの意識啓発を行う必要がある。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	第1次総合計画の「快適で潤いのある生活環境づくり」に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	エコ事業については、意識啓発等の必要な事業であるため、市が行うことは妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	啓発を行っても、事業所にとってのメリットが少ないため、協力を得られないことが多い。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	総合計画での基本事業を推進できなくなるので、影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	類似事業なし。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	事業費なし。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市内の全事業所を対象としているため公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	エコショップの協力事業者のメリットが少ないため、新規事業所の理解が得られない。更なる啓発と周知活動が必要と思われる。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr><th colspan="4">コスト</th></tr> <tr><th></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr><th rowspan="3">成果</th><td>向上</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td>×</td></tr> <tr><td>低下</td><td></td><td>×</td></tr> </table>		コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○		維持		×	低下		×
コスト																					
	削減	維持	増加																		
成果	向上	○																			
	維持		×																		
	低下		×																		
更新洩れが数件みられるため、定期的な確認と協力業者数の管理が必要。 また、事業者側のメリットの少なさと認知度の低さにより新規事業者の獲得が難しいため、更なる周知活動が必要と考える。		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果	③																		
		コスト削減優先度評価結果	⑨																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>